

藤樹研究の一大拠点「小川寮」

とうじゆしよつとくかい
藤樹頌徳会
(小川寮建設発起団体)

藤樹頌徳会は、昭和7年(1932)に、大正から昭和にかけての倫理学者で鳥取県出身の広島文理科大学教授である文学博士、西晋一郎(1873~1943)が中心となり設立した中江藤樹の教育

思想の普及に大きく寄与した研究団体です。その設立の目的は、全国各地で藤樹の研究に取り組む会員相互の連携を深め、会員が藤樹の学問や道徳、教育内容についての理解を深めることでした。日々の研究については、会の発展に伴い全国に設立されていったそれぞれの支部で行われていました。

「小川寮」の建設

小川寮絵図(個人蔵)

安曇川町上小川にある藤樹書院は、慶安元年(1648)に完成した、門人を中心に藤樹の教えに関心のある者たちが学ぶ拠点です。領主である大溝藩主・分部公に「講堂」が禁止されていた期間はあったものの、藤樹の没後も長い期間、遺徳をしのぶ学者たちで活況を呈していました。しかし、藤樹の教えを学ぶうと小川村を訪れた人々が、

長期間小川村に滞在しながら学ぶことのできる宿泊機能を備えた大規模な宿泊機関「寮」は存在しませんでした。

そこで、藤樹書院や玉林寺の墓所、藤樹神社等々が点在する小川村に、藤樹教育を推進しようとする教育者のための研究所、宿泊機能を備え、藤樹研究の拠点である教育村を展開しようとして藤樹頌徳会が建設を始めたのが「小川寮」です。ただ、太平洋戦争が激化したため昭和14年(1939)に全体計画の一部である「明徳寮」が完成した後、計画が進むことはありませんでした。

この「小川寮」が当初の予定どおり完成していたら、想定は何倍もの費用がかかるほどの立派な建物でした。その建設経費には、藤樹を愛する人々の浄財があてられる予定でした。計画では外観は清楚であり、全体に明るい色調で、当時の小川村周辺の風景に調和していました。

藤樹を愛する多くの人々が、その完成を熱望していたことでしょう。

問 近江聖人中江藤樹記念館
☎ (32) 0330

小川寮設計図(出典：藤樹頌徳会発行「藤樹頌徳会について」1934年)

編集感

今年も残すところ約1か月となりました。皆さん今年は何のような年でしたか?何かやり残したことはありませんか?

私は、環境広場のページにあるようにできるだけ早めに家の大掃除を始めたいと思います。掃除して部屋も心もきれいな状態にして気持ちよく今年が終えられるようにしたいです。皆さんもやり残しがないようにがんばりましょう!(K)



広報たかしま

令和5年

12

月号

No.287

発行▼高島市 編集▼政策部企画広報課

〒160-8502 滋賀県高島市新旭町北畑ののろ番地

☎ 0740(25)8000(代)

🌐 <https://www.city.takashima.lg.jp>
✉ t-info@city.takashima.lg.jp